



crossing cafe



Vol.21

2025.4.1

発行:スペースベン
毎月1日 319部発行
〈webでも配信〉
https://bit.ly/3U8LdnL

TOPIC

八戸市美術館 年間スケジュール

浮世絵コンニチは

タイカンする江戸文化 企画展 2025.4.19[土]~6.15[日]

浮世絵とはどんなもの? 作品や道具、版木などの約200点の展示によって、多角的に紹介します。浮世絵を通じて今日(コンニチ)をみつめ、江戸文化を大観(タイカン)しながら体感(タイカン)する展覧会です。

ポケモン×工芸展 一美とわざの大発見ー

企画展 2025.6.28[土]~8.31[日]

ポケモンファンのみならず話題となった展覧会。ポケモンをテーマに、日本を代表する工芸作家たちが、その美意識とわざによって表現した世界をお楽しみください。

古代エジプト美術館展

2025.10.11[土]~12.15[月]

主催/デーリー東北新聞社
古代エジプト美術館 渋谷
共催/八戸市美術館

GOMA展 WONDER

～不思議と驚きと奇跡～

2026.2.14[土]~3.29[日]

主催/GOMALABO
共催/八戸市美術館

第62回 八戸市美術展

〈前期〉

2025.9.18[木]~9.21[日]

書道・第38回八戸市学生書道展

主催/八戸市文化協会 共催/八戸市美術館 観覧料/無料

〈後期〉

2025.9.25[木]~9.28[日]

絵画・写真

観覧料/無料

八戸市美術館

Hachinohe Art Museum

2025.4~2026.3



年間スケジュール
EXHIBITION
SCHEDULE

例本佳子

上:《キャモメ》2022 中:《タマンタ》2022
下:《ポッチャマ》2022 個人蔵

〈コレクションラボ展示〉

010 西野こよ 表現への挑戦
2025.3.1[土]~6.15[日]

011 きっと、そこには
2025.9.13[土]~12.8[月]

012 渡辺貞一展(仮)
2025.12.13[土]~2026.3.23[月]

〈八戸市美術館〉

〒031-0031 青森県八戸市大字番町10-4

☎0178-45-8338 FAX 0178-24-4531

公式ホームページ

https://hachinohe-art-museum.jp

■開館時間 10:00~19:00 ※12/28、1/2~3は10:00~17:00

■休館日 火曜日 ※4/29、5/6、7/29、8/5・12・19・26、9/23、2/17は開館
5/7、6/18・23・25、9/1・3・4・24、1/28、年末年始(12/29~1/1)

そのほか施設修繕、メンテナンスなどにより臨時休館とする場合があります。

■観覧料/企画展・共催展 展覧会により観覧料が異なります。コレクションラボ展示 無料

〈スペースベン 4月の予定〉

FANS 予定 第1626~1629回

毎週金曜日の夜7時30分から約30分の芝居やダンスやライブを楽しむ企画です。

一般前売500円/大学生以下前売200円(当日それぞれ100円増)

4月18日(金) 佐藤拓之 即興演劇 vol.8「おふたりさま」

料金/一般2,000円 学生1,000円(当日各500円増)※特別番組で料金と違いますのでご了承ください

「だべり場」「かたり場」「ほだれ場」随時開催しています ■4/25(金) ほだれ場 19:30~21:00予定

〈Dance Lesson〉

■毎週火曜日 20:15~21:45/KAZU HIPHOP DANCE SCHOOL

■最終水曜日 19:30~20:30/SEGA HIPHOP

〈古典戯曲を味わう会〉

国内外の古典戯曲から参加者で選んだ作品を読み、楽しむ企画です。

■4月は第2・4水曜日(通常毎月第1・3水曜日開催) 14:00~15:30予定。

※シェークスピア「ヴェニスの商人」他を予定

※参加費¥100。Zoomにて開催中。日時等変更になる場合があります。

〈メンバーズカード〉

チャージ可能なプリペイドカードで、入場の際ご提示いただく
と前売料金で入場いただけます。また、どの公演でも入場料
から3%値引きいたします。チャージは現金でもクレジットカード
でも可能です。



〈キャッシュレス決済〉

「PayPay」「ID」他、カード払いに対応しています。

●各詳細は080(6025)0990に
お電話でご確認ください

〈theater information〉



佐藤拓之 即興演劇 vol.8 「おふたりさま」

【日時】2025.4.18(金)

18:30開場 19:00開演

※アフタートークも入れて90分を予定

【会場】スペースベン

【料金】一般 ¥2,000円 学生 ¥1,000

※当日各500円増 ※投げ銭歓迎

【ゲスト】食品淳子



【チケット予約】

ゲストを迎えて「おふたりさま」にバー
ジョンアップした佐藤拓之の即興演劇。



フォーチュンシアター 「即興演劇ワークショップ」

【日時】2025.4.19(土)

【コース】①基礎コース 11:00~12:30

②専科コース 13:30~16:30

※①のみ または①&②の受講

【ファシリテーター】

佐藤拓之(フォーチュンシアター東京)

【会場】スペースベン

【料金】一般/①&②:¥4,000

①のみ:¥1,000

学生/①&②:¥1,000

①のみ:¥500

※1,000円ごとに1スタンプ。スタンプ10個で1,000円割引。
(学生は500円ごとに1スタンプ。10個で500円割引。)

【申込】下記QRコードから



【問合せ】080-3144-6753(外館)

フォーチュンシアター主催のインプロウ
クショッ。見学も可能(要問い合わせ)。

NOW
PRINTING

八戸東高校演劇部自主公演 特別バージョン

【日時】2025.4.27(日) 13:00~

【会場】SG GROUP ホールはちのへ
(八戸市公会堂文化ホール)

【料金】無料

【問合せ】八戸東高校 ☎0178-43-0262

〈Free Column〉

劇場の 片隅から

文/田中 勉
(スペースベン主宰)

2月のえんぶりも終わり、今年は3月に入ってから気温はまだ低いものの、
だいぶ春めいた日が続いていたけれど、春彼岸の20日は天気予報を見ると雪は
降らないもののどうやら結構寒いらしい。例年墓参りには、混雑を避けて日の出
前に行くようにしていたけれど、今年はその時間帯だと何もかも凍りついていて、
お寺さんの水道も止まっているのかも。こりゃ、ペットボトルにお湯を入れて持っ
て行くか、少し暖かくなってからの午後になんて行くしかないかなあ。そんなことを
ゆるゆると考えている。

特別寄稿

「おひとりさま」より「おふたりさま」

文／大黒屋 五郎（大黒屋ぶろでゅーす代表）

昨年までは佐藤ひとりでの即興劇「おひとりさま」だったが、今回は倉品、佐藤による「おふたりさま」となった公演当日、昨日まで雪のなかった八戸に雪が降っている。小屋の中では観客から「未来」「雪」「ヒラメ井」「もちこい（くすぐたい方言）」「考古学」「食べきれない」とお題がだされる。演者からは即興劇とは一貫したストーリーは無くお題によって変化してゆくので、難しく考えずに観てほしいとのこと。開演時刻、客席からの携帯音が。このハプニング？もふたりにとっては開演ベルとなる。携帯音を口ずさみ男（佐藤）登場、女（倉品）もその電話に应对、電話だけに掛合となり探りあいの即興劇は始まった。部屋の中での誕生日を祝ってる場面から楽器を持ち出し本日の「雪」の中のふたりの出来事を語り始める。突如女は婆様と化し男に道を尋ねる。そこは何故か婆様の自宅なのだ。そして玄関に家訓が「帯に短し襷に長し」、脈略がない台詞に不覚にも吹き出してしまった。婆様と男の他愛もない会話のなかで婆様が男の体に触れるたび「もちこい」を連発。場面の一貫性はないがふたりのアドリブで小さな物語が成立していく。そして机には八戸名物？丸い羊羹を食べながらの閑談だが婆様は話に飽きたのか「もうこのくだりは良いだろ」と強制終了、女は舞踏家の如く舞う、無言のまま多彩な身体表情の空気感を醸しだし異様な物体を観客は見つめている。やがて化け猫となり、またも唐突な古代の発掘調査という「考古学」を始める。男が出土物を誤って踏んで壊す、バキッ、バキッ、踏みつけ舞踏のスイッチが入った。舞っていくうちに湖？にはまり、何故か「ヒラメ井」ヘレポート、井のヒラメの切り身に擬人化し食べられてしまう。彼らは一体何者なのか観客はついていけないのだろうか。そんな心配もお構いなしにふたりは指差しての「お前」の仕草は今ではNGなのだと言いつつ、お互いを指差しながら「お前」、本当にやりたいことは何だと問いかける。息子は卒業したら亡き父のパン屋を継いで余ったパンを「食べきれない」ほど母に食べてもらおうと、母は指さしながらやりたいことそれはお前を支えることだよと。初めてシリアスな空気が流れる。ここで終演…、いやまだ「未来」が出てないとかばかりに哲学者のように過去・現在・「未来」を体で表現しながら復唱し始める。娘は自分の「未来」は舞踏家になりたいと、父はなぜと問う、娘は言葉より身体表現が雄弁になると言いながらまた舞い始める。その雄弁な舞を終えると観客から拍手がおきた。「おふたりさま」の幕は閉じる。外の雪はやんでいた。

この内容は芝居を観ていない人からすれば支離滅裂な文章なのかもしれない。文書で伝えきれない。ただ、演劇は文章でも画像でもなくLIVEであり小屋の中の空気感を味わうもの。ふたりの脳内で駆け巡る想定外の言葉や動き、表情、それらへの対応の困惑やすれ違い等々、空間の共有や違和感を感じること、観ることが面白いのだ。即興劇の劇評は難しいが、観劇は楽しかった。

●筆者近況

大黒屋ぶろでゅーす代表←とは言っても一人しかいない。最近昔（1950～60年代）の歌謡曲を聴いて思うことがある。ハラスメント規制強化？の今の若者はこの時代の歌詞をどう感じるのだろう。ちなみに私は黛ジュンより藤圭子派だ！



■佐藤拓之 即興演劇 vol.7
「おふたりさま」
2025.2.21(金) スペースベン

FANSで上演・LIVEをやってみませんか？

ジャンルは問いませんので、まずはお気軽にご相談ください



Director

田中 勉

〒031-0081 八戸市柏崎1-11-8
mobile 080(6025)0990 Fax.050(3588)8350
e-mail owner@spaceben.com

<https://spaceben.com/>

crossingcafe

fanscross

crossingcafe

crossingcafe

YouTube @fanscafe



FANSってナンだ!?

小劇場「スペースベン」にて、毎週金曜日の夜7時30分から、約30分の芝居を楽しんでいただく企画です。芝居に限らずライブ・ダンス等、ジャンルの枠にとらわれず、金曜日の夜には“ここで何かおもしろい事をやっている”という場になればと思います。なお、料金は特別番組以外全て前売り500円、学生は200円です(当日100円増し)。上演の場を求めている方、刺激を求めているあなた、ご連絡お待ちしております。